

2026

じん けん

参加無料
全8回

なるほど 人権 セミナー

テーマ
「たよう」



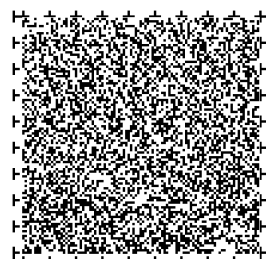
昨年度のセミナーのまとめ動画を
視聴することができます



2025年度「じんけん」作品集より 水分小学校 金堀 天音さんの作品

それぞれに違いや個性をもったわたしたち
互いの違いを受け入れ、多様な生き方を認め合う
そして、多様な意見や立場を尊重し合う
そんな社会を実現するために

音声コード↓



- ◆会場:事前申込み不要
- ◆後日動画配信:要申込み
- ◆手話通訳あり
- ◆要約筆記・託児(要申込み)

人権ってみんなのもの だからみんなで考えたい

主催 久留米市・久留米市人権啓発推進協議会

8

21 (金)

14:00~16:00

定員
240人動画配信
あり

第1回講座

えーるピア久留米 視聴覚ホール

水俣病患者家族に生まれて

～水俣が伝えたかったこと～

すぎもと はじめ

講師 水俣病資料館 語り部

杉本 肇 さん



1961年、水俣市袋茂道に生まれ、両親と祖父母の一家4人が水俣病認定患者。2008年から市立水俣病資料館の「語り部」となり、現在、同館語り部の会副会長をつとめる。有限会社すぎもと水産役員。また、お笑いコミックバンド「やうちブラザーズ」代表としても活躍している。

9

11 (金)

18:30~20:00

定員
240人動画配信
あり

第2回講座

えーるピア久留米 視聴覚ホール

多様性（ダイバーシティ）って何？

～すべての物語は語られる価値がある～

講師 中洲昼スナ「役にたたなくてもいい場所」ママ

社会福祉士

キャリアコンサルタント

あきこ

フィッシュ明子 さん



中国・英国でのメディア勤務を経て、九州大学ソーシャルビジネス研究センターで社会課題解決型ビジネスの創出に従事。

2021年から博多中洲でアウトリーチの場として昼間のスナック「役にたたなくてもいい場所」をひらいている。メディア取材や番組出演多数。

9

26 (土)

14:00~15:30

定員
200人P 日吉小学校
40台程度

第3回講座

久留米シティプラザ 大会議室

博覧会と《人間の展示》

～悲しき疑似西洋～

講師 東京工芸大学准教授

こはら まさし

小原 真史 さん



かつて西洋諸国の万博には、産業製品の展示だけでなく非西洋諸国の人間を見せる《人間の展示》があった。日本でも第五回国内勧業博覧会で「人類館」という施設がつくられた。この歴史の問題点に着目し、長年にわたり様々な資料を収集するとともに著書を発表。文化と文化が会おう博覧会という場における、見る者と見られる者の関係性を考える場として講演活動を展開。

10

7 (水)

18:30~20:00

定員
250人

第4回講座

耳納市民センター 多目的ホール

このとりのゆりかごから始まる

第2の人生

講師

みやつ こういち

一般社団法人子ども大学くまもと 理事長 宮津 航一 さん



2007年5月10日慈恵病院(熊本市)の「このとりのゆりかご」に3歳で預けられ、同年、里親の宮津夫妻のもとへ委託。2022年高校卒業を機に、自らの生い立ちを公表。ゆりかご当事者として、全国各地にて「いのちの語りびと」として講演活動を行い、自分にしか伝えられない思いや言葉を届けている。ふるさと元気子ども食堂代表。

11

6 (金)

18:30~20:00

定員
240人動画配信
あり

第5回講座

えーるピア久留米 視聴覚ホール

犯罪被害者として見えてきたこと

～子どもも大人も居場所を求めて～

講師 不登校を考える親の会「ほっとケーキ」代表
犯罪被害者

やまぐち ゆみこ

山口 由美子 さん



2000年、17歳の少年による西鉄高速バスジャック事件に遭遇した事をきっかけに、仲間と共に「不登校の親の会・子どもの居場所」を開く。2026年から佐賀少年刑務所で月1回の講話を続けている。2012年、九州大学統合新領域学府に入学し子どもの感性について学ぶ。現在不登校や引きこもりの方への居場所の必要性を発信。

11

18 (水)

18:30~20:00

定員
240人動画配信
あり

第6回講座

えーるピア久留米 視聴覚ホール

父親はアメリカ兵だった

～「アメラジアン」という言葉と出会って～

講師

なかむら かずえ

仲村 和枝さん



1949年、アメリカ統治下の沖縄でアメリカ軍の父と日本人の母の間に生まれた。琉球政府立高校を卒業後、パスポート(日本渡航証明書)を持ち、集団就職で大阪の紡績工場へ就職。併せて、専門学校に通い資格を習得した後保育士として就職。子ども時代に様々な体験を重ねた沖縄を離れ都会で暮らす中で、自分自身の出自を隠しがちであったが、「アメラジアン」という言葉に出会うことで自身の存在に誇りを持てるようになった。

12

10 (木)

18:30~20:00

定員
240人動画配信
あり

第7回講座

えーるピア久留米 視聴覚ホール

再審(裁判のやり直し)を考える

～事件と裁判の現場から～

講師 西日本新聞社 北九州支社
編集部次長

なかはら こうへい

中原 興平さん



2002年西日本新聞社入社。久留米総局、編集局社会部、大村支局長、クロスメディア報道部デスクなどを経て現職。2014年、アフガニスタンで人道支援に尽くした、故中村哲医師を現地で密着取材。再審請求中の「飯塚事件」の検証取材も担当。全国水平社創立100年の節目を見据えて展開した長期企画「人権新時代」で2023年度の新聞協会賞を受賞。

2027

1

29 (金)

18:30~20:00

定員
240人動画配信
あり

第8回講座

えーるピア久留米 視聴覚ホール

多様性を受けとめる学校づくりのために

～DE&Iの観点で“ふつう”を見直す～

講師 学校DE&Iコンサルタント

Demo代表

たけだ みどり

NPO法人School Voice Project 理事 武田 緑さん



学校における【DE&I(多様性・公正・包摂)】をテーマに、研修・講演・執筆、ワークショップやイベントの企画運営、学校現場や教職員への伴走サポート、教育運動づくり等に取り組んでいる。また、全国の教職員らと共にNPO法人School Voice Projectを立ち上げ、現在は理事兼事務局長として活動に従事している。